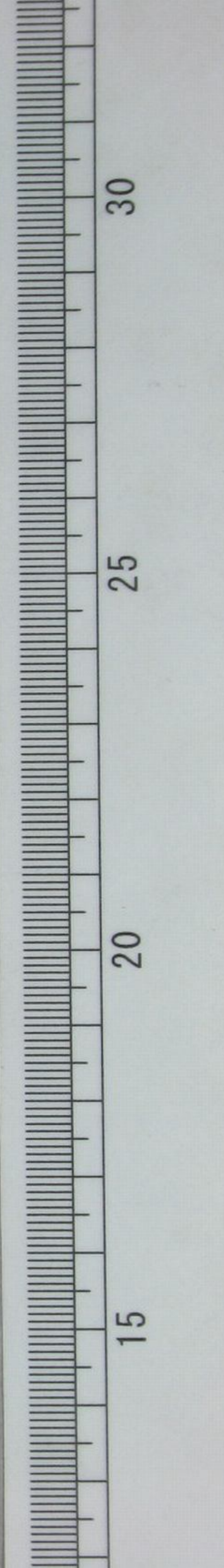


西海

有人  
國有

舟  
の  
り  
ん  
り  
ん

舟







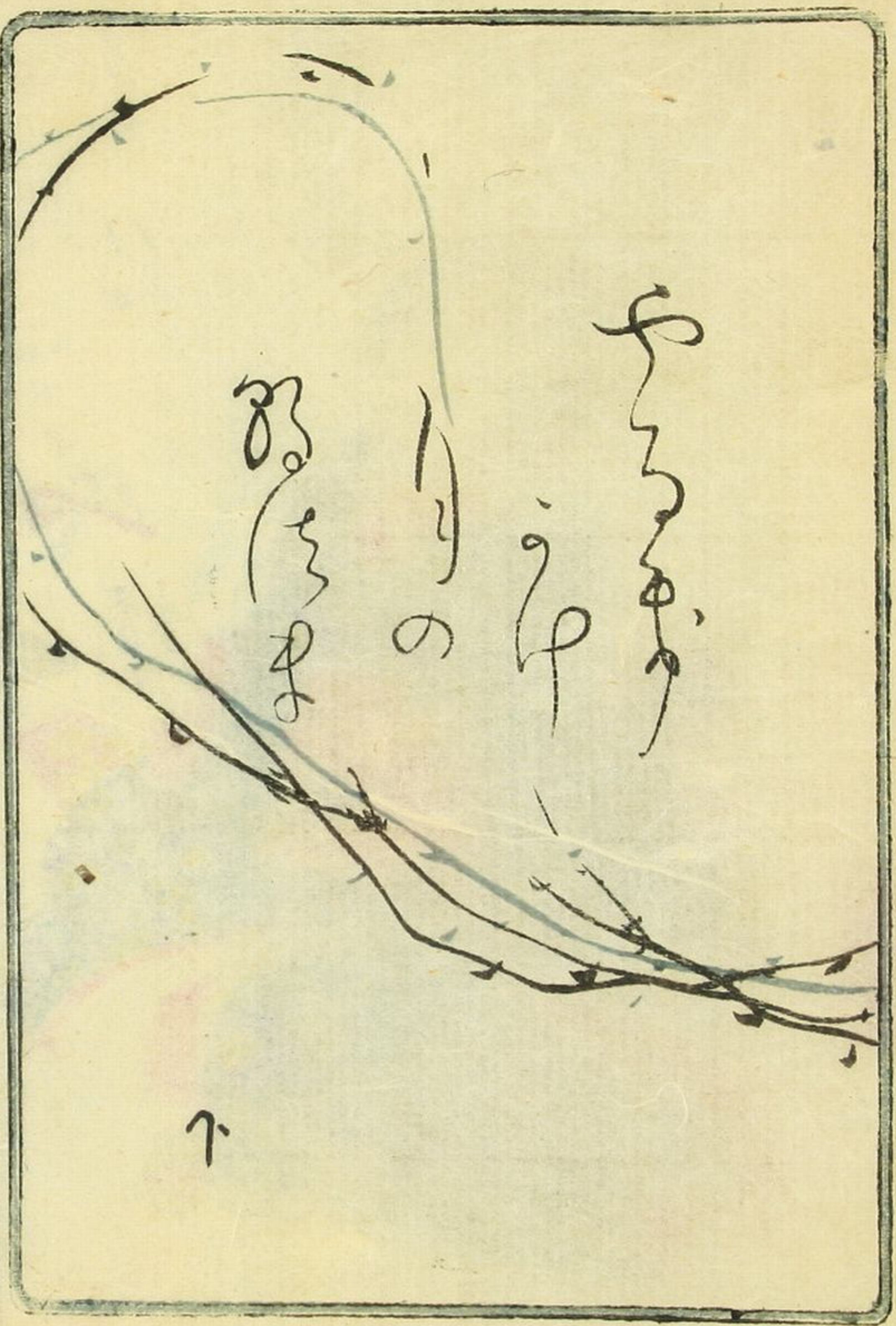
四扇下



四扇上

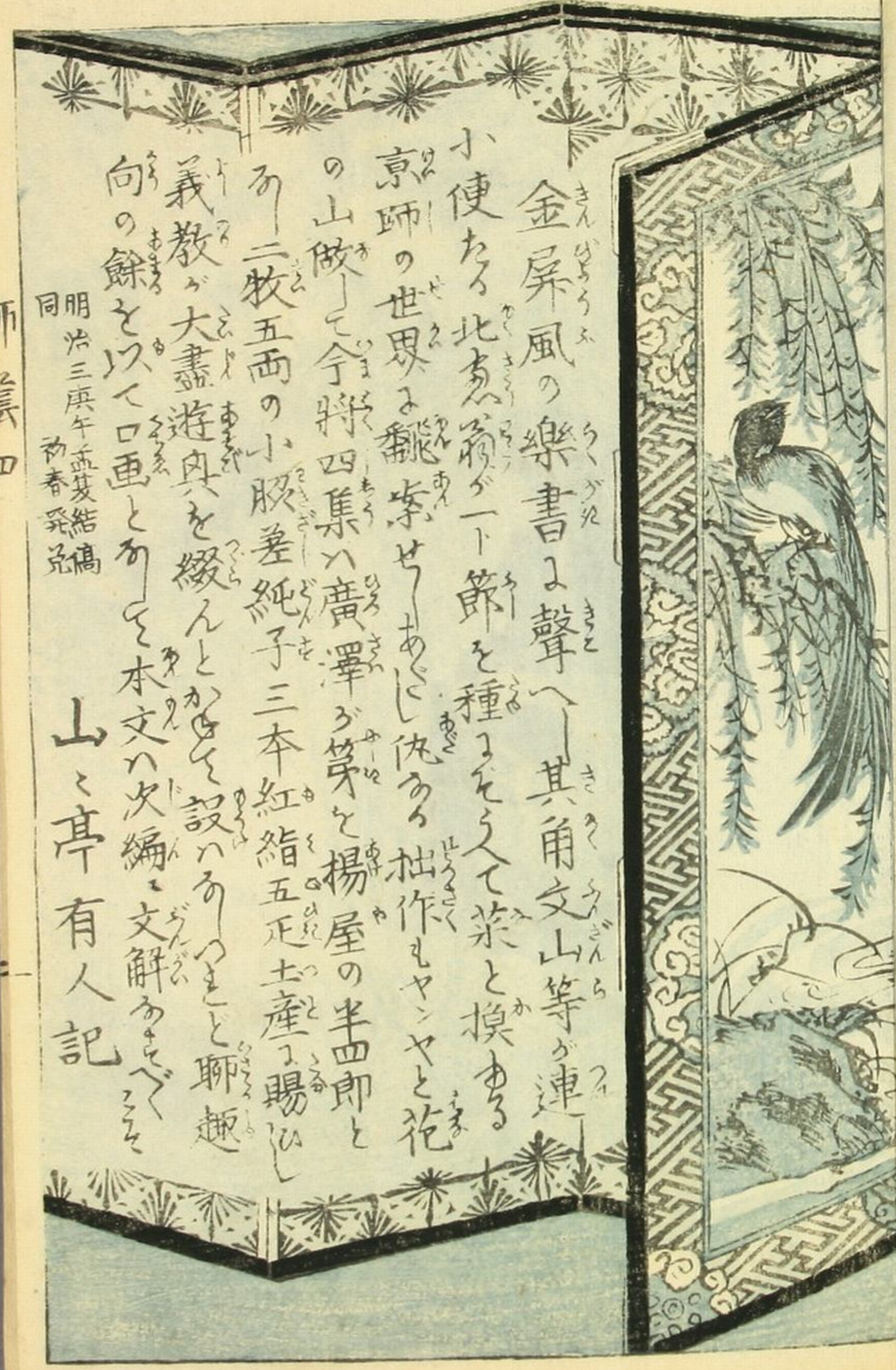


A394  
4



48-7624

一 翠



金屏風の樂書に聲へ其角文山等が連  
 小使たる北窓翁が一節を種をそえて茶と換り  
 京師の世界に翻案せしあに仇ある拙作もヤンヤと花  
 の山歌して今將四集の廣澤が笈を揚屋の半四郎と  
 り二枚五兩の小股差純子三本紅緒五正土産に賜ひし  
 義教が 大盡遊貞を綴んとかきと設けのふとと聊趣  
 向の餘を以て口画とありを本文の次編に文解あまべく

明治三庚午孟夏結稿  
 同 初春発兌

山と亭有人記



廣澤 守太郎

母美目

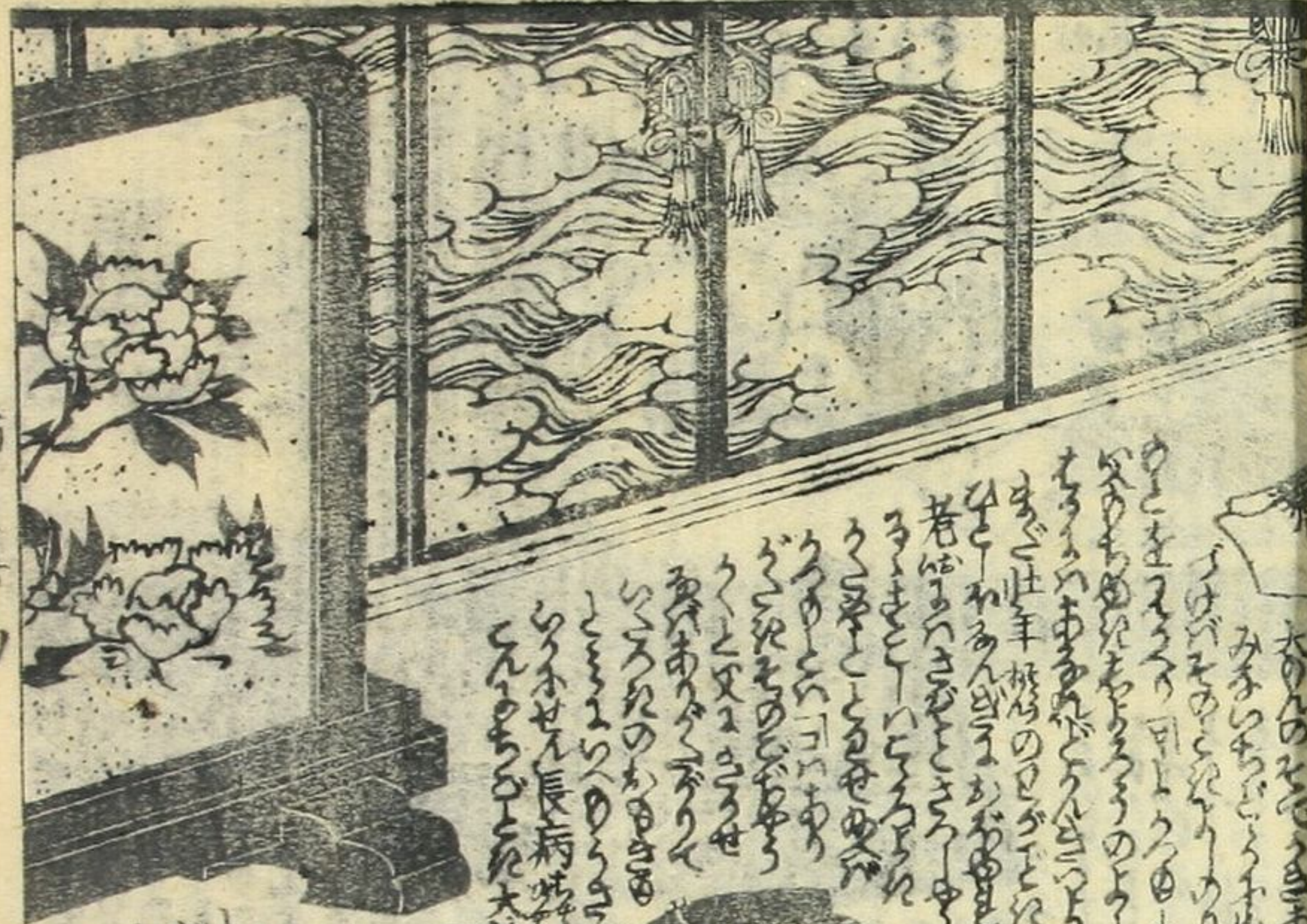
足利 義教

守太郎 妻 為

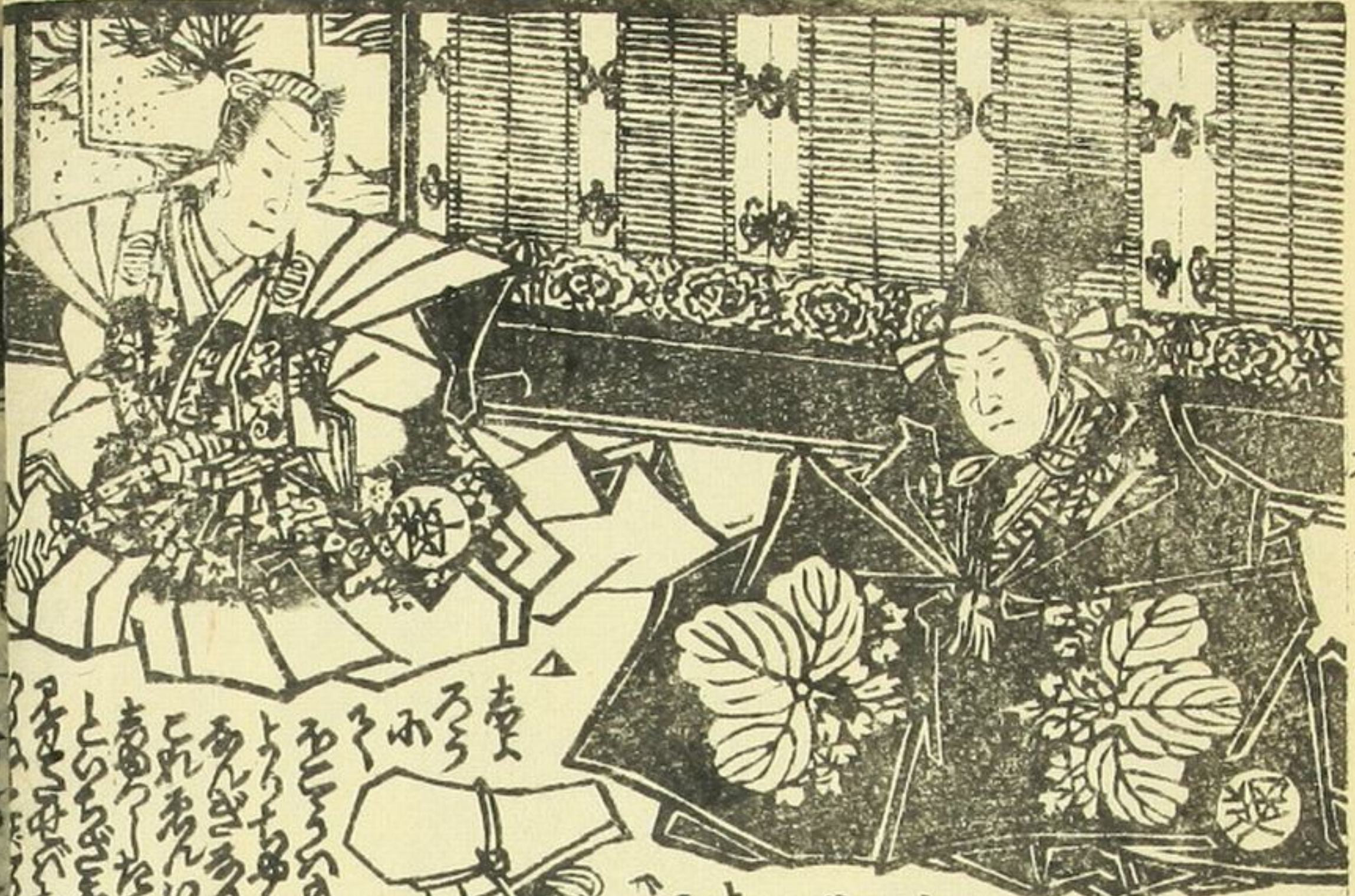
木 戸 口







あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ



あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ  
あつちのうらなひ









あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの



あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの

あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの  
あつちの





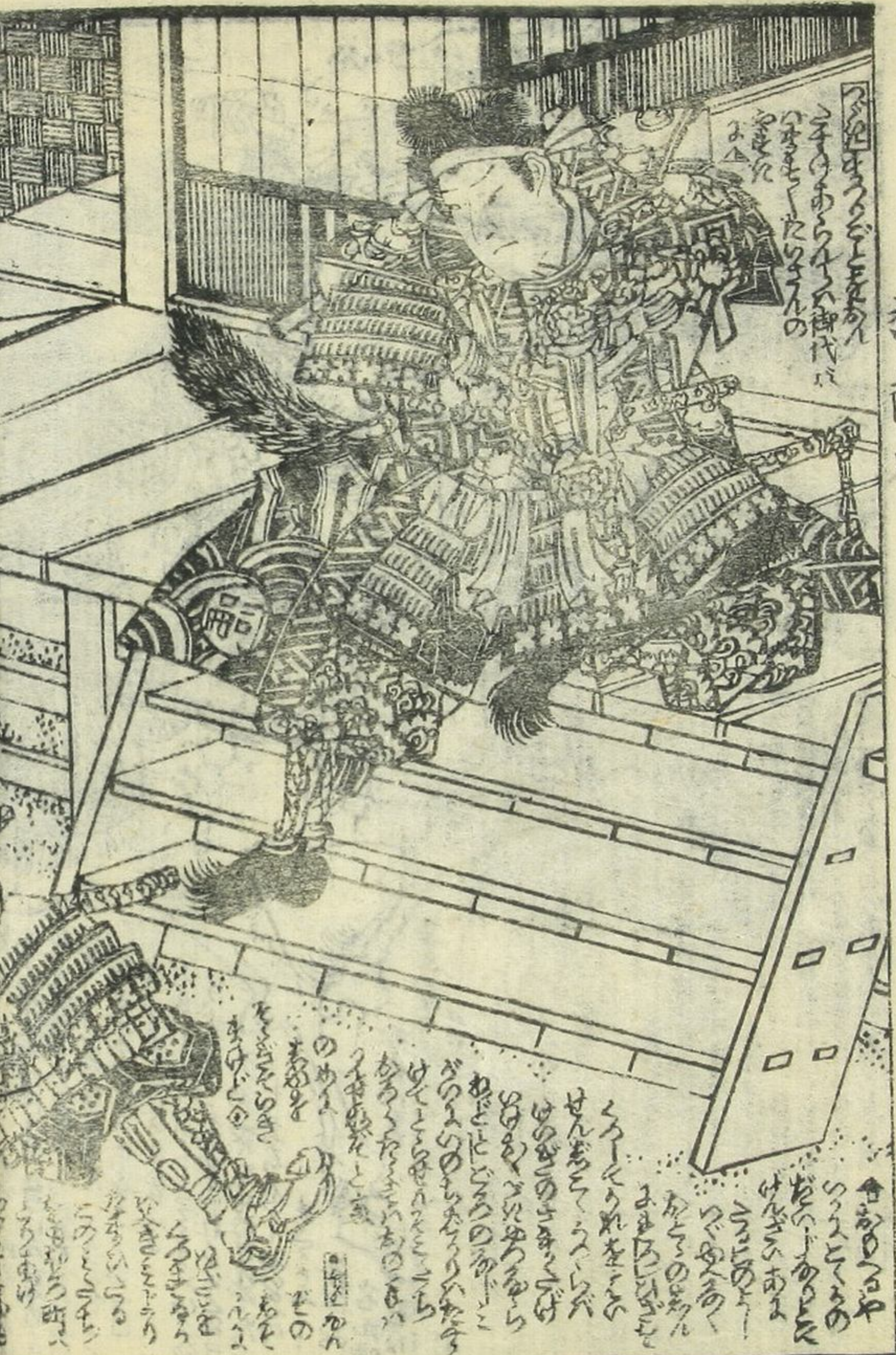








伊賀守



伊賀守













有人作  
國貞画

此画は... 白せん... 又... 此の... 花... 月... 朝妻... 柳蔭... 國貞... 有人... 作... 画... 此... 花... 月... 朝妻... 柳蔭... 國貞... 有人... 作... 画... 此... 花... 月... 朝妻... 柳蔭... 國貞... 有人... 作... 画...

水家  
實母散

さんせんさんじ  
ふとんちるもち  
一四の妙茶

中橋南傳馬町東側  
千葉堂孝輔製

柳蔭月朝妻

出板

山々亭有人作  
梅朝樓國貞画

藪黃鸝八幡不知

出板

山々亭有人作  
錦朝樓芳希画

阿玉々池櫛月形

出板

山々亭有人作  
陽齋豊國画

地本綿繪團扇問屋

紅英堂 葛吉



















Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a Japanese text. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving left. The characters are dense and difficult to read due to the cursive style.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the left page. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving left.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the left page. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving left.



Handwritten text at the top of the page, likely a title or introductory notes, written in a cursive script.



Main body of handwritten text, organized into columns. The text is written in a cursive script and appears to be a commentary or a collection of related notes. It is arranged in vertical columns, with some text appearing to the left and right of the central illustration.



















010190518332

明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年嶋

十編 春水作 國貞画

室町源氏胡蝶卷

十編 三種彦作 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作 國貞画

童謡妙々車

二十五種彦作 國貞画

薄俤幼日記

十編 春水作 國貞画

七幼き葛飾譚

十迫種彦作 國貞画

新号九尾傳

十三 春水作 國貞画

筆海四國開書

十三種彦作 國貞画

明鴉墨画廻襦褌

十五種彦作 國貞画

花封蒼玉章

十編 種彦作 國貞画

八天傳犬の友紙

五編 柳亭作 國政画

南傳馬問壹丁月 葛屋吉藏板



大吉利市

華硯

有人は... 國貞画

柳澤

二十



